

だれもが住みやすい地域を目指して



本市では、ひきこもり状態にある方とそのご家族を支えるため、日高圏域の町と合同でNPO法人ヴィダ・リブレにひきこもり支援事業を委託し、3年目になります。

NPO法人ヴィダ・リブレでは、火～土の午後1時から相談、居場所を提供しています。ぜひお気軽にご連絡（☎080-1490-5927）ください。



NPO法人ヴィダ・リブレ（美浜町和田1131-2）

●ひきこもりとは

「ひきこもり」の定義としては、「6か月間以上、家族を除いてほとんど他者とのかわりがない」状態とされています。昔は若者、特に男性に多かったひきこもりですが、最近では、女性も多くなっています。

（内閣府 平成30年度「生活状況に関する調査」）

●ヴィダ・リブレが行っている支援について

ヴィダ・リブレでは、当事者に寄り添った支援を行っています。本人には、家以外の居場所を提供し、少しずつ家族以外の人と関わる場を設けることで、少しでも社会との関わりをもてるようにしています。そして社会参加（復学や進学、就労）に向けて、各種の関係機関と連携してサポートも行っています。

他にも、当事者やご家族、地域でひきこもり支援を考える方を対象に研修会を開催しています。

第2回 ひきこもり回復支援のための研修会（令和4年度ひきこもり支援事業）

①基調講演

「関わりにおける 心の持ちよう」

ひだか病院臨床心理士：NPO法人ヴィダ・リブレ理事 石橋 玄 先生

②シンポジウム

「ひきこもる人の心をより理解するために」

精神保健福祉士、保健師、NPO法人ヴィダ・リブレ（サポーター・当事者）

③質問コーナー

◆日 時 令和5年1月28日（土） 受付13：30～

◆場 所 由良町中央公民館（Aコープゆらを西に500メートル直進）（由良町網代248-12）

◆申し込み NPO法人ヴィダ・リブレ ☎080-1490-5927（火～土）（先着50名）

E-mail：vidalibre.amigo@gmail.com



理事長の宮西照夫 医師

一人だけ、家族だけで悩まずご相談ください。

ヴィダ・リブレの活動は、一人でも多くのひきこもる若者、あるいはその家族の方の力になりたいという思いから平成29年にスタートしました。

ひきこもりは、放っておくと長期化することもあります。適切な支援を早期に行うことで、多くは数年で回復します。

同じ悩みをもつ仲間やメンタルサポーターと一緒に、ヴィダ・リブレでのんびりと時間を過ごしてみませんか？

ぜひお気軽にお越しください。